

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	仁科工業株式会社					
代表者名	氏名	中野 卓	役職名	取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市豊野町浅野1671					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	25 はん用機械器具製造業				
主たる事業の概要	建設機械及び産業車両用油圧製品の開発・製造・販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3257	3257	3318	3495	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6684	6684	6817	7174	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	41		49	55	
自動車の台数	台	12		12	12	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	19				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 30 年度
--------	----------

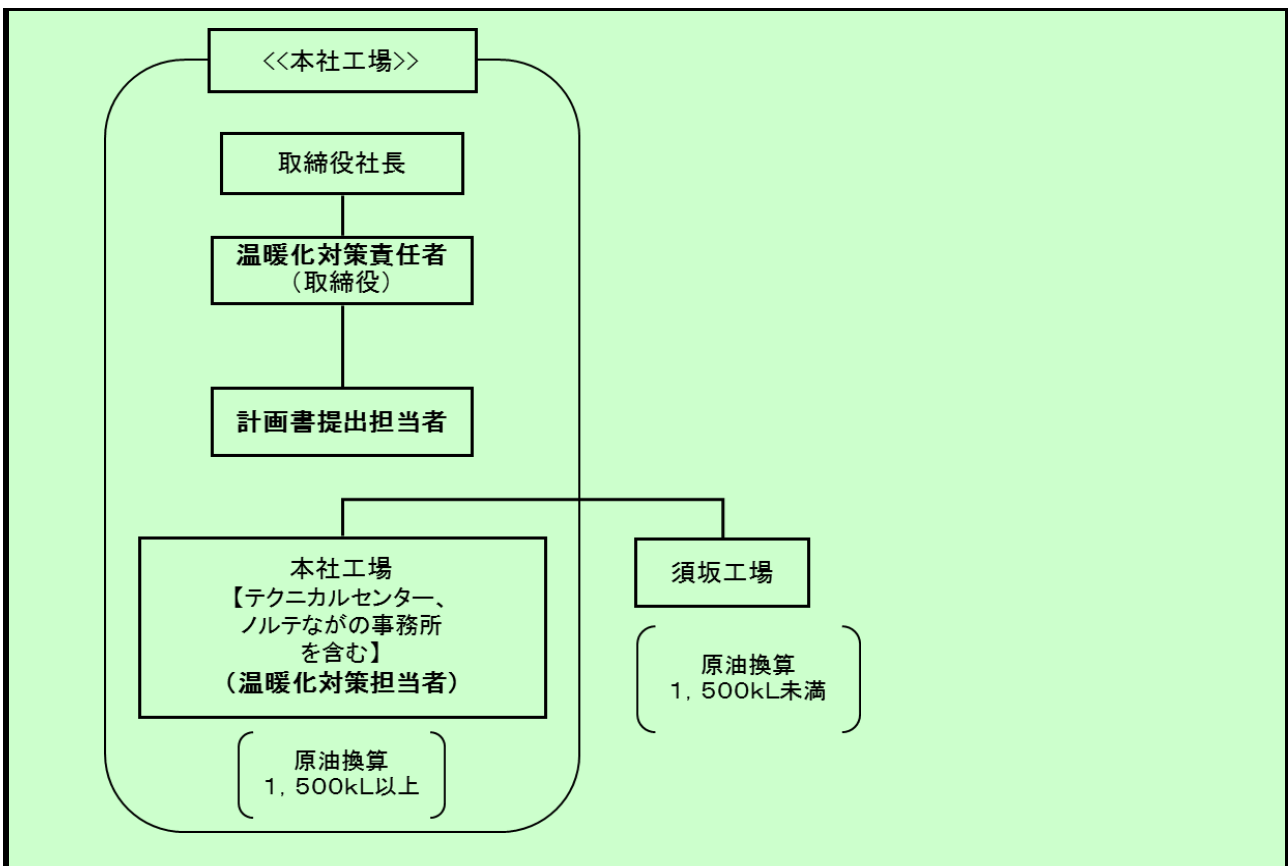
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.nishina-ind.co.jp
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

我社は建設機械及び産業車両用油圧製品の開発・製造・販売等、あらゆる事業活動において、環境に与える影響を継続的に改善することにより、地球環境保全に貢献し、社会から信頼される企業であり続ける。そのために、ISO14001活動を通じて、省エネ活動、地球温暖化防止に取り組んで行く。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境保全推進委員会 (月1回開催)
環境委員会 (年2回開催)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,684	t-CO ₂	売上金額	126.15	単位	億円	
28年度	調整後排出量	6,636	t-CO ₂	基準原単位	52.99	t-CO ₂ /	億円	
目標年度	目標排出量	6,684	t-CO ₂	目標原単位	50.34	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	0.00	%	目標削減率	5.00	%		
目標設定に関する説明	豊田自動織機グループの関係会社として「第六次環境取り組みプラン」(2015～2020)の策定に連動した目標を掲げている。これに準じて、3年間の原単位の目標削減率は5%とする。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,817	t-CO ₂	売上金額	146.48	単位	億円	
	調整後排出量	6,755	t-CO ₂	原単位	46.54	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	(1.99)	%	削減率	12.17	%		
排出量等の増減理由	生産量が増加した一方で、コンプレッサー6台更新のほか省エネ工事を積極的に行ない、原単位が改善された。							
第二年度	排出量	7,174	t-CO ₂	売上金額	147.95	単位	億円	
	調整後排出量	7,123	t-CO ₂	原単位	48.49	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	(7.34)	%	削減率	8.49	%		
排出量等の増減理由	製品開発の試験があり電気使用量が増加、また夏季の猛暑による冷房稼働で電気及び都市ガス使用量が増えた。							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	売上金額		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	41	t-CO ₂			単位		
28年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	49	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	(19.52)	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	55	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	(34.15)	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	19	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360703 本社工場コンプレッサのインバータ化	29	52.4	29	241.8
2	エネ起	360703 須坂工場（加工）コンプレッサのインバータ化	29	42.6	29	92.2
3	エネ起	360703 須坂工場（組立）コンプレッサのインバータ化	29	12.6	29	32.6
4	エネ起	380752 須坂工場（加工）天井照明LED化	29	9.9	29	21.6
5	エネ起	320351 洗浄機タンク、配管の保温工事	29	5	29	2
6	エネ起	380752 須坂工場（組立）天井照明LED化	30	4.3	29	32.6
7	エネ起	360701 加工設備、油圧ユニットのインバータ化	29	0.8	29	1.8
8	エネ起	380752 本社工場、部品倉庫、出荷場、実験室の照明LED化			29	17
9	エネ起	330299 冷温水発生機3基更新			30	46.3
10	エネ起	320301 洗浄機の配管・タンク保温			30	10.1

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	48		62	51	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330299 地下ピット熱の屋外排気			30	2.1
2	エネ起	360799 圧縮エア어의限定供給			30	1
3	エネ起	380752 蛍光灯照明LED化改修			30	9.9
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	48		62	51	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0		0		1	6,228		
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,623	1	5,765	0			
1,500k1未満	1	1,061	1	1,052	1	946		
合計	2	6,684	2	6,817	2	7,174		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	41	49	55	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	41	49	55	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	3	3	
合計	2	3	3	0
自動車総数	12	12	12	
次世代車導入割合	16.7	25	25	

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率97%、本社駐輪場整備（塗装、LED改修）
公共交通機関の利用促進	JR通勤者の豊野駅-本社工場間を社用車（ハイエース10人乗り）で送迎。3回/日
来客者の交通対策	アイドリングストップの要請
物流の合理化	ミルクラン（巡回便による部品集荷）実施

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	環境マネジメントシステムISO14001（2015年度版）	2018年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	省エネプロジェクト発足（コストをかけない省エネ）、緑化活動（植栽、社内敷地花壇）、環境提案募集、定時退社日設定、廃棄物の削減、ライトダウン
第一年度実績	廃液リサイクル、緑化活動（植栽、社内敷地花壇）、環境提案募集、定時退社日設定、ライトダウン
第二年度実績	廃液リサイクル、緑化活動（植栽、社内敷地花壇）、環境提案募集、定時退社日設定、ライトダウン
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	AHUインバータ化、断熱塗装、圧縮空気エリア毎の電動バルブ化	189.6
その他		